

＼季節限定配信／
秋のながら見守り

メルマガ11月20日号

“～これも防犯？（攻める防犯とは）～”

こんにちは！ながら見守り事務局です。
いつも区の安全・安心を見守っていただき、ありがとうございます。
ながら見守りにご登録いただきました皆様には、防犯や見守りに関する情報など、定期的に発信していきます。

さて今回は、「犯罪者の動機形成 犯罪発生」までの間に、犯罪者が何を考えて犯罪を起こすのか、「犯罪者の心理」に着目してお届けします。

目次

- [1] 動機形成 意思決定と行動化
- [2] 犯罪発生
- [3] 攻める防犯「ながら見守り」

[1] 動機形成 意思決定と行動化
犯罪を起こそうとする者は、実際に犯罪を思いついた（動機形成）後も、実際に犯罪を犯すまでに何十回、何百回と行動を起こすか起こさないか（意思決定）と行動化の判断を繰り返します。

[2] 犯罪発生
この意思決定と行動化の繰り返しの中で、「やろう (Yes) 」が選択され続けると、犯罪発生につながります。
すなわち、この行動化を起こす手順の中で一度でも「やめよう (No) 」が選択されると犯罪は起こらないのです。

[3] 攻める防犯「ながら見守り」
例えば、自宅の部屋に座っているときに、近所のコンビニで万引きすることを思いついた。（動機形成）
椅子から立ち上がるかどうか [Yes/No]、靴を履いて玄関を出るか [Yes/No]、一つ一つの行動を前に進めるかの判断を繰り返している。（意思決定と行動化）

すべて [Yes] が選択され、自宅はでたものの、コンビニに着くまでに「あいさつ」をされた。
このあいさつだけでも [No] を選択し、犯行を思いとどまる者が多い。

犯罪者にとって「あいさつされた」ということは、「いつ、どこで、どんな人がいたのか知っている人がいる」という考えに至ります。
犯罪に向けての自分の行動を他者に知られ、後で証拠になってしまうことを嫌がるからです。

この「あいさつ」こそが「攻める防犯」であり、皆様が知らず知らずのうちにやっている「ながら見守り」の活動なのです。

詳細はこちら
足立区 HP / あだちの防犯3賢人 / 出口保行（防犯専門アドバイザー） / 攻める防犯
https://www.city.adachi.tokyo.jp/machizukuri/bouhan_advisor.html

毎月20日は区民防犯の日

足立区 まちづくり課 防犯まちづくり係

〒120-8510 足立区中央本町1-17-1（南館4F）
Tel: 03-3880-5435 Fax: 03-3880-5605
Mail: machi@city.adachi.tokyo.jp